

～コロナ禍～
差別や偏見は許されないよ!



各務原市
教育センター
すてっぷ発

差別や偏見に流されない子どもを育もう

新型コロナウイルスの影響から、差別や偏見につながる姿は見られていませんか?

差別や偏見を防ぐには、周りの大人の関りがとても大切になります。

予想される心配な反応・行動

- ・体調不良で休んだ子や濃厚接触者、感染者となり休んでいた子に対して、敏感に反応し「コロナがうつる。」「〇〇さんが触ったから触りたくない。」と言ったり、陰でうわさ話をしたり、避けたりする。
- ・感染予防のための約束を守れない子を悪者扱いしたり、強く注意したりする。
- ・親が医療機関等に勤めている子に対して「コロナ!!」等言葉や態度で嫌悪感を示す。または仲間外れにする。



新型コロナウイルスに関して SNS 等に特定の子を誹謗中傷する内容を書き込んだり、リツイートする。

家庭の事情で欠席する子や通学班で通わない子の悪口をいう。



友達と久しぶりに会えた喜びの気持ちから、身体接触を伴う遊びをする。



大人に必要とされる子どもへの配慮

- ・感染リスクは誰もが持っていることを伝えと共に、正しい感染防止の対策を伝える。
- ・感染防止の取り組みについて、お互いに声を掛け合い一緒に取りくむ関係性を育てる。
- ・他者への注意喚起の伝え方について、優しく伝える言い方等を実際に大人が言ってみせたり、子ども自身にも考えさせたりする。
- ・うわさ話をされた子の思いを相手の立場になって考える時間を作る。
- ・子どもが休み明けに登校したときは、欠席した子ども本人と共に周りの子どもたちの様子についても見守りや声掛けをする。
- ・コロナ感染者の治療にあたっている医療従事者のニュース等に触れながら、医療従事者への感謝の気持ちを持つことや自分たちの日常生活を支えてくれていることについて気付かせる。

- ・SNS で誹謗中傷を書き込むことで、どんな結果が起きるのかを考えさせ、書き込みをしてはいけないことを伝える。

- ・他者を誹謗中傷する気持ち、誹謗中傷された子どもの気持ちをお子さんと一緒に考え、やめる態度を育てる。



- ・家庭の事情で皆と同じ行動ができない子どももいること、保護者の希望に学校側が対応していることを伝える。

- ・友達との遊び方について、身体接触に伴うリスクを伝え、安全に楽しく遊ぶ方法を子どもたちと一緒に考える。例: 縄跳び・かくれんぼ・サッカー等



子どもと一緒に新型コロナウイルス感染症に関する 差別・偏見について考えるために



《参考動画》

- ・日本赤十字社「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～
<https://www.youtube.com/watch?v=33Ndf-4tL60>
- ・日本赤十字社「ウィルスの次にやってくるもの」<https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>
- ・日本赤十字社「感染流行期に心の健康を保つために ～隔離や自宅待機されている方の周りにいるあなたへ～」

新型コロナウイルス感染症を理由とした偏見や 差別・いじめ等で悩んだ場合の相談窓口



- ・24 時間子ども SOS ダイアル 0120-0-78310 (電話相談を 24 時間受け付けます)
- ・教育相談ほほえみダイヤル 0120-745-070 (月曜から金曜日【9:30～16:15】携帯電話からはつながりません)
■各地区の教育事務所にも相談窓口があります。
- ・岐阜県教育委員会学校安全課教育相談係 058-271-3328 (月曜～金曜日【8:30～17:15】)
- ・各務原市 市民相談室 相談方法:面接 電話:058-383-1884
- ・みんなの人権 110 番 0570-003-110 (法務省ホームページより)
- ・子どもの人権 110 番 0120-007-110 (法務省ホームページより)
- ・外国語人権相談ダイヤル 0570-090-911 (法務省ホームページより)

参考資料

- ・さいたま市教育委員会「新型コロナウイルス感染症の感染者に対する偏見や差別から子どもたちをまもるために～具体的な活動場面における人権教育上の視点と配慮に係る資料～」
- ・岐阜県人権教育協議会 人権教育啓発資料 ひびきあい No.19